

様式 C-7-1

平成27年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)実績報告書(研究実績報告書)

1. 機関番号

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名 新学術領域研究(研究領域提案型) 4. 研究期間 平成26年度～平成30年度
5. 課題番号

2	6	1	0	5	0	0	1
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 3D活性サイト科学のプラットフォーム構築による総括と研究支援

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
20126121	ダイヤモンド ヒロシ 大門 寛	物質創成科学研究科	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
10311341	コバヤシ ノブヒコ 小林 伸彦	筑波大学・数理物質科学研究科(系)	准教授
10373523	マツシタ トモヒロ 松下 智裕	公益財団法人高輝度光科学研究センター・制御・情報部門	主席研究員
20107395	タカハシ トシオ 高橋 敏男	東京学芸大学・教育学部	研究員
20283632	ハヤシ コウイチ 林 好一	名古屋工業大学・工学(系)研究科(研究院)	教授
20304165	ノムラ コトヒロ 野村 琴広	首都大学東京・理工学研究科	教授

9. 研究実績の概要

本領域の目的は、ドーナツ等、機能発現の重要な役割を担っている非周期の局所構造について、機能性を原子レベルで明らかにして「3D活性サイト」の学理を創設することである。今年度から公募班が15名加わり、また国際活動支援班の助成もいただくことができ、活動が大きく広がった。総括班に於いては、SPring-8に高度な実験環境を整えるとともに、領域全体の効率的運営及び活性化を行うことが目的である。9回の総括班会議を行い、下記のような活動を行った。

1. 「研究戦略策定」担当は、公募班キックオフミーティング(2015年5月)、第2回成果報告会(2015年9月)、第3回成果報告会(2016年3月)を開催した。また、国際WSを2015年4月にドイツにおいて開催した。また、公開セッションを国際会議ALC'15の中など5回開催した。また、ひらめきときめきサイエンス(2015年11月)などアウトリーチ活動を3回行った。また、SNS'16など8つの研究会を共催した。また、サトビサイトを、5つの大学において行った。

2. 「大型実験施設ネットワーク」担当は、「X線回折用真空装置」、「超高真空試料測定システム」の整備を行った。SPring-8内拠点室を活用し、SPring-8 2015B期、2016A期の課題申請支援や解析支援を行った。

3. 「若手育成」担当は、春の学校を開催して若手対象の講義を行い、講義をYouTubeで公開した。第2回と第3回成果報告会で若手研究者5名にポスター賞を授与し、VUV会議サテライトWSへの参加旅費を贈呈した。また、データ解析チュートリアルを2回開催した。

4. 「広報活動」担当は、英語も含めた公式ホームページを制作・運用し、News Letter No.3(2015年7月)とNo.4(3月)を発行して情報発信を行った。

10. キーワード

- | | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|----------------|
| (1) 活性サイト | (2) 不純物 | (3) 先端材料 | (4) 光電子ホログラフィー |
| (5) 蛍光X線ホログラフィー | (6) 表面界面ホログラフィー | (7) 電子回折イメージング | (8) 第一原理計算 |

11. 現在までの進捗状況

(区分)(1) 当初の計画以上に進展している。

(理由)

1. 「研究戦略策定」として行ってきた、公募班キックオフミーティング、成果報告会、各種シンポジウムなどにより、領域外への発信、領域内での相互理解が進み、数多くの共同研究、融合研究が進んでいる。これらの会合においては、アドバイザーと学術調査官から適宜アドバイスをいただき、領域運営を行ってきた。また、表面・ナノ科学シンポジウム2016 (SSNS'16) やCMDワークショップなど9件を共催し、他分野との連携が深まった。また、5つの大学でサイトビジットを行い、領域の意思疎通が深まった。
 2. 「大型実験施設コーディネート」としては、「X線回折用真空装置」、「超高真空試料測定システム」の整備を行い、蛍光X線ホログラフィーと光電子ホログラフィー測定の共通実験プラットフォームの構築が進んだ。
 3. 「若手育成」としては、若手研究者5名へポスター賞を授与して国際ワークショップに参加させるなど若手育成が進んだ。
 4. 「広報活動」担当は、英語も含めた公式ホームページを順調に運用している。また、News Letter No.3(2015年7月)とNo.4(3月)を発行し、広報活動が順調に行われた。
- 以上、2年度目の領域は、当初の計画以上にさらに発展していると考えられる。

12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策)

2回目の国際会議であるVUVXのSatellite Workshop "Local 3D atomic and electronic structure imaging of functionally active sites" を2016年7月1日にスイスのZurich大学で開催する。ここでは、領域の国際アドバイザー3名(米国、スイス、ハンガリー)に参加していただき基調講演をいただくとともに、領域へのアドバイスもいただき、国際展開を活発にしていく。また、多くの講演会を開催して領域の普及と融合研究の促進に努める。また、CMDワークショップなど多くの関連研究会を引き続き共催し、他分野との連携を深める。また、いくつかのサイトビジットを行い、領域の意思疎通と共同研究を深める。「3D活性サイト科学」の教科書を丸善から出版し、本領域の科学を広く普及させる。

引き続き大型の共通実験プラットフォームを整備していく。SPRING-8内プロジェクト拠点室を利用して、利用者の申請、測定、解析支援を行っていく。また利用者の試料を大気にさらすことなくSPRING-8へ持ち込むための搬送システムの活用を始める。「春の学校」を5月28日-29日に東北大学青葉山キャンパスにて開催する。アウトリーチ活動を複数開催する。広報活動としては、英語も含めた公式ホームページやNews Letterを通して、引き続き国際的な情報発信を行う。第2回目の公募研究を募集し、研究対象をさらに拡大する。領域活動に助言・指導を戴くアドバイザーとして、塚田捷東北大学特任教授、掛下知行大阪大学工学系研究科長、川合眞紀東京大学教授、尾嶋正治東京大学名誉教授に加え、昨年度からは産業界から日本シエンタオミクロン社長の大若烈氏をお迎えした。また、学術調査官は昨年7月から小島磨先生(神戸大学)(正)と片桐清文先生(広島大学)(副)に担当していただいている。これらの先生方から適宜評価・助言を戴き、領域運営に反映していく。

13. 研究発表 (平成 27 年度の研究成果)

〔雑誌論文〕 計 (66) 件 / うち査読付論文 計 (58) 件 / うち国際共著論文 計 (9) 件 / うちオープンアクセス 計 (28) 件

著者名		論文標 題				
Sakura Nishino Takeda, Atsushi Kuwako, Masahiro Nishide, and Hiroshi Daimon		Disentangling hole subbands dispersion in Si(111): In- and out-of-plane effective masses and anisotropy				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Phys. Rev.B	有	93	2 0 1 6	125418	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://dx.doi.org/10.1103/PhysRevB.93.125418						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標 題				
M. Taguchi, A. Chainani, S. Ueda, M. Matsunami, Y. Ishida, R. Eguchi, S. Tsuda, Y. Takata, M. Yabashi, K. Tamasaku, Y. Nishino, T. Ishikawa, H. Daimon, S. Todo, H. Tanaka, M. Oura, Y. Senba, H. Ohashi, and S. Shin		Temperature Dependence of Magnetically Active Charge Excitations in Magnetite across the Verwey Transition				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Phys. Rev. Lett.	有	115	2 0 1 5	256405(1-5)	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://dx.doi.org/10.1103/PhysRevLett.115.256405						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標 題				
Rie Horie, Fumihiko Matsui, Hiroshi Daimon, Masaru Takizawa, Hidetoshi Namba, Shigeki Otani, Takashi Aizawa		Atomic-Orbital Analysis of ZrB2 Valence-Band by Two-Dimensional Photoelectron Spectroscopy				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
e-J. Surf. Sci. Nanotech	有	13	2 0 1 5	324-328	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://doi.org/10.1380/ejssnt.2015.324						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著 者 名		論 文 標 題				
Nur Idayu Ayob, Sakura N. Takeda, Tomohiro Sakata, Masaaki Yoshikawa, Makoto Morita and Hiroshi Daimon		Unusual energy separation of subbands in Si(111) p-channels induced by In adsorption				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Jpn. J. Appl. Phys.	有	54	2 0 1 5	065702(1-7)	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
doi:10.7567/JJAP.54.065702						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著 者 名		論 文 標 題				
Tomohiro Sakata, Sakura N. Takeda, Nur Idayu Ayob, Hiroshi Daimon		Effect of the Flash Annealing on the Impurity Distribution and the Electronic Structure in the Inversion Layer				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
e-J. Surf. Sci. Nanotech	有	13	2 0 1 5	75-78	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://doi.org/10.1380/ejssnt.2015.75						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著 者 名		論 文 標 題				
Rie Horie, Fumihiko Matsui, Naoyuki Maejima, Hirotsuke Matsui, Kota Tanaka, Hiroshi Daimon		Cubic Zirconia Crystalline Surface Oxide Epitaxial Formation on ZrB ₂ (0001) Confirmed by Circularly-Polarized-Light Photoelectron Diffraction				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
e-J. Surf. Sci. Nanotech	有	13	2 0 1 6	114-114	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://doi.org/10.1380/ejssnt.2015.111						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
F. Matsui, N. Maejima, H. Matsui, H. Nishikawa, H. Daimon, T. Matsushita, M. Muntwiler, R. Stania, Roland, T. Greber		Circular Dichroism in Cu Resonant Auger Electron Diffraction				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Zeitschrift fur Physikalische Chemie	有	230	2 0 1 6	519	該当する	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1515/zpch-2015-0665						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
Sugita Kenji, Naoyuki Maejima, Hiroyuki Nishikawa, Tomohiro Matsushita, Fumihiko Matsui		Development of Micro-Photoelectron Diffraction at SPring-8 BL25SU				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
e-J. Surf. Sci. Nanotechnol	有	14	2 0 1 6	59-62	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.1380/ejssnt.2016.59						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
S. Hosokawa, K. Kamimura, H. Ikemoto, N. Happo, K. Mimura, K. Hayashi, K. Takahashi, K. Wakita, N. Mamedov		Structural studies on TIInSe ₂ thermoelectric material by x-ray fluorescence holography, XAFS, and x-ray diffraction				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Phys. Status Solidi B	有	252	2 0 1 5	1225-1229	該当する	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1002/pssb.201400247						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名	論文標題				
W. Hu, K. Hayashi, T. Fukumura, K. Akagi, M. Tsukada, N. Happo, S. Hosokawa, K. Ohwada, M. Takahasi, M. Suzuki, M. Kawasaki	Local Structure Analysis of Incommensurate Phase in Ti-42Ni-8Fe(at.%) Alloy by X-ray Fluorescence Holography				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Appl. Phys. Lett.	有	106	2 0 1 5	222403-1-5	該当する
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
http://dx.doi.org/10.1063/1.4921847					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題				
T. Terai, A.Toriyama, T. Fukuda, T. Kakeshita, K. Hayashi, N.Happo, S. Hosokawa	Local structure analysis of incommensurate phase in Ti-42Ni-8Fe(at.%) alloy by X-ray fluorescence holography				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Mater. Today: Proc.	有	2S	2 0 1 5	S933-S936	該当する
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
doi:10.1016/j.matpr.2015.07.435					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題				
Y. Ebisu, K. Hayashi, N. Happo, S. Hosokawa, T. Ozaki	Local structure analysis of Lanthanum-doped Strontium Titanate by means of x-ray fluorescence holography				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Trans. Mater. Res. Soc. Jpn.	有	40	2 0 1 5	355-358	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
doi:10.1016/j.jnoncrysol.2015.02.027					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名		論文標題				
Ryuhei Harada, Yu Takano, Yasuteru Shigeta		Efficient conformational sampling of proteins based on a multi-dimensional TaBoo SeArch algorithm:				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Chemical Physics Letters	有	630	2 0 1 5	68-75	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.1016/j.cplett.2015.04.039						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
Yu Takano, Ayumi Kusaka, Haruki Nakamura		Density functional study of molecular interactions in secondary structures of proteins				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Biophysics and Physicobiology	有	13	2 0 1 6	27-35	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.2142/biophysico.13.0_27						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
Yu Takano, Kazuto Nakata, Yasushige Yonezawa, Haruki Nakamura		Development of massive multi-level molecular dynamics simulation program, Platypus (PLATform for dYnamic Protein Unified Simulation), for the elucidation of protein functions				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Journal of Computational Chemistry	有	37	2 0 1 6	1125-1132	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.1002/jcc.24318						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
Y.Wakabayashi, H.Fujii, T.Kimura, O.Sakata, H.Tajiri, T.Koyama, and D.Chiba		Confirmation of no structural and chemical changes in Curie temperature variable Co ultrathin films by electric field				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Z. Phys. Chem.	有	230	2 0 1 6	569-575	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://dx.doi.org/10.1515/zpch-2015-0648						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
W.Voegeli, E.Arakawa, T.Matsushita, O.Sakata, and Y.Wakabayashi		Dynamical Response of the Electric Double Layer Structure of the DEME-TFSI Ionic Liquid to Potential Changes Observed by Time-Resolved X-ray Reflectivity				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Z. Phys. Chem.	有	230	2 0 1 6	577-585	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1515/zpch-2015-0669						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
Y.Wakabayashi, H.Maeda, T.Kimura, O.Sakata, E.Sakai and H.Kumigashira		Microscopic observation of degradation of LaNiO ₃ ultrathin films caused by air exposure				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
e-Journal Surf. Sci. Nanotechnol.	有	14	2 0 1 5	14-16	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://doi.org/10.1380/ejssnt.2016.14						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている(また、その予定である)						

著者名		論文標題				
S. Hosokawa, J. Stellhorn, W.-C. Pilgrim, N. Boudet, N. Blanc, S. Kohara, H. Tajiri, H. Kato, Y. Kawakita, T. Otomo		A Combination of Anomalous X-ray Scattering and Neutron Diffraction for Structural Characterizations of Zr45Cu45Ag10 Metallic Glass				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
JPS Conf. Proc.	有	8	2 0 1 5	031002-(1-6)	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://dx.doi.org/10.7566/JPSCP.8.031002						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
J. R. Stellhorn, S. Hosokawa, W.-C. Pilgrim, N. Blanc, N. Boudet, H. Tajiri, S. Kohara		Short- and intermediate-range order in amorphous GeTe				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Phys. Status Solidi B	有	-	2 0 1 5	-	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1002/pssb.201552559						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
Kenichi Kaminaga, Ryosuke Sei, Kouichi Hayashi, Naohisa Happo, Hiroo Tajiri, Daichi Oka, Tomoteru Fukumura and Tetsuya Hasegawa		A divalent rare earth oxide semiconductor: yttrium monoxide				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Applied Physics Letters	有	18	2 0 1 6	122102-(1-4)	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1063/1.4944330						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名	論文標題【掲載確定】				
Hiroto Noda, Ken Motokura, Yusuke Wakabayashi, Kaori Sasaki, Hiroo Tajiri, Akimitsu Miyaji, Sho Yamaguchi, and Toshihide Baba	Direct Estimation of the Surface Location of Immobilized Functional Groups for Concerted Catalysis Using a Probe Molecule				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Chemistry A - European Journal	有	-	2 0 1 6	-	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題				
N. Uchitomi, H. Toyota, T. Takahashi	Crystalline quality and structure of MBE-grown ferromagnetic semiconductor ZnSnAs ₂ : Mn thin films revealed by high-resolution X-ray diffraction measurements				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Z. Phys. Chem.	有	230	2 0 1 6	499-508	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
DOI: 10.1515/zpch-2015-0649					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題				
T. Shirasawa, T. Takahashi	Structure Determination of the Gold Atomic Chain on Si(111) by Surface X-Ray Diffraction				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
PF Activity Report	無	32	2 0 1 5	18-19	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著 者 名		論 文 標 題				
白澤徹郎, 高橋敏男		トポロジカル絶縁体薄膜の構造物性 (最近の研究から)				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
日本物理学会誌	無	70	2 0 1 5	713-717	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
高橋敏男		第70回年次大会 (2015年) シンポジウムの報告 (領域委員会) : 領域10, 領域9「機能発現サイトの原子スケール立体構造解明 -無機から蛋白まで-」				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
日本物理学会誌	無	70	2 0 1 5	560-561	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
T. Krasienapibal, T. Fukumura, T. Hasegawa		Curie temperature of Co-doped TiO ₂ as functions of carrier density and Co content evaluated from electrical transport and magnetization at low temperature regime				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
AIP Adv.	有	6	2 0 1 6	055802-1-5	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1063/1.4942554						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
K. Hayashi, N. Uchitomi, K. Yamagami, A. Suzuki, H. Yoshizawa, J. T. Asubar, N. Happo, S. Hosokawa		Large As sublattice distortion in sphalerite ZnSnAs ₂ thin films revealed by x-ray fluorescence holography				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
J. Appl. Phys	有	119	2016	125703-1-9	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1063/1.4945004						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
N. Uchitomi, H. Toyota, T. Takahashi		Crystalline quality and structure of MBE-grown ferromagnetic semiconductor ZnSnAs ₂ :Mn thin films revealed by high-resolution x-ray diffraction measurements				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Z. Phys. Chem.	有	230	2016	499-508	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1515/zpch-2015-0649						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
R. Sei, T. Fukumura, T. Hasegawa		2D Electronic Transport with Strong Spin-orbit Coupling in Bi ₂ -Square Net of Y ₂ O ₂ Bi Thin Film Grown by Multilayer Solid-Phase Epitaxy				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
ACS Appl. Mater. Interfac.,	有	7	2015	24998-24501	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1021/acsami.5b07825						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
T. S. Krasienapibal, T. Fukumura, T. Hasegawa		Observation of magnetic domain structure in anatase Ti1-xCoxO2 thin film at room temperature				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Appl. Phys. Lett.	有	106	2015	202402-1-4	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1063/1.4921464						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
S. Kojima, T. Fukumura, T. Hasegawa		Effect of central metals on Langmuir-Blodgett monolayers of phthalocyanines with flexible substituents				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
e-J. Surf. Sci. Nanotech.	有	13	2015	155-158	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1380/ejssnt.2015.155						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
X. Hou, K. Nomura		Arylimido)vanadium(V)-alkylidene complexes containing fluorinated aryloxo, alkoxo ligands for fast living ring-opening metathesis polymerization (ROMP), highly cis-specific ROMP				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
J. Am. Chem. Soc.	有	137	2015	4662-4665	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1021/jacs.5b02149						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
J. Stelhorn, S. Hosokawa, Y. Kawakita, D. Gies, W.-C. Pilgrim, K. Hayashi, K. Ohoyama, N. Blanc, N. Boudet		Local structure of room-temperature superionic Ag-GeSe3 glasses				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
J. Non-Crystalline Solids	有	431	2 0 1 6	68-71	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1016/j.jnoncrysol.2015.02.027						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題 【掲載確定】				
J. Chen, T. Kawanago, H. Wakabayashi, K. Tsutsui, H. Iwai, D. Nohata, H. Nohira, K. Kakushima		La2O3 gate dielectrics for AlGaIn/GaN HEMT				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Microelectronics Reliability	有	60	2 0 1 6	16-19	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1016/j.microrel.2016.02.004						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
Y. Takei, K. Tsutsui, W. Saito, K. Kakushima, H. Wakabayashi, H. Iwai		Dependence of ohmic contact properties on AlGaIn layer thickness for AlGaIn/GaN high electron mobility transistors				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Jpn. J. Appl. Phys.	有	55-4	2 0 1 6	040306(-1-4)	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://doi.org/10.7567/JJAP.55.040306						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
T. Yokoo, K. Ohoyama, S. Itoh, K. Iwasa, N. Kaneko, J. Suzuki, M. Ohkawara, K. Aizawa, S. Tasaki, T. Ino, K. Taketani, S. Ishimoto, M. Takeda, T. Oku, H. Kira, K. Hayashi, H. Kimura, T. J. Sato		Polarized neutron spectrometer for inelastic experiments at J-PARC Status of POLANO Project				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
EPJ Web Conf.	無	83	2 0 1 5	3018	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
T. Uchida, S. Liu, M. Enari, S. Oshita, K. Yamazaki, K. Gohara		Effect of NaCl on the lifetime of micro- and nanobubbles				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Nanomaterials	有	6	2 0 1 6	31-1-10	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
doi:10.3390/nano6020031						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
T. Uchida, K. Yamazaki, K. Gohara		Generation of micro- and nano-bubble distributions in water via dissociation of gas hydrates				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Korean. J. Chem. Eng	有	33-5	2 0 1 6	1749-1755	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.1007/s11814-016-0032-7						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
T. Mitsudome, T. Urayama, K. Yamazaki, Y. Maehara, J. Yamasaki, K. Gohara, Z. Maeno, T. Mizugaki, K. Jitsukawa, K. Kaneda		Design of core-Pd/shell-Ag nanocomposite catalyst for selective semihydrogenation of alkynes				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
ACS Catal.	有	6	2 0 1 5	666-670	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1021/acscatal.5b02518						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
T. Uchida, D. Kishi, T. Shiga, M. Nagayama, K. Gohara		Sintering process observations on gas hydrates under hydrate-stable and self-preservation conditions				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
J. Chem. Eng. Data	有	60	2 0 1 5	284-292	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1021/je500578d						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
S. Danworaphong, M. Tomoda, Y. Matsumoto, O. Matsuda, T. Ohashi, H. Watanabe, M. Nagayama, K. Gohara, P. H. Otsuka, O. B. Wright		Three-dimensional imaging of biological cells with picosecond ultrasonics				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Appl. Phys. Lett.	有	106	2 0 1 5	163701-5	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://dx.doi.org/10.1063/1.4918275						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
T. Uchida, M. Nagayama, K. Yamazaki, K. Gohara, A. K. Sum		Raman spectra measurements on DEPC liposome and cell membrane of living neuron under xenon pressure				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Can. J. Chem.	有	93	2 0 1 5	831-838	該当する	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.1139/cjc-2014-0542						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
T. Kawamura, H. Imabayashi, M. Maruyama, M. Imade, M. Yoshimura, Y. Mori, Y. Morikawa		Mechanism for enhanced single-crystal GaN growth in the C-assisted Na-flux method				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Appl. Phys. Express	有	9	2 0 1 6	015601-1-4	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://doi.org/10.7567/APEX.9.015601						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
P.V. Bui, A. Isohashi, H. Kizaki, Y. Sano, K. Yamauchi, Y. Morikawa, K. Inagaki		Study on the mechanism of platinum-assisted hydrofluoric acid etching of SiC using density functional theory calculations				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Appl. Phys. Lett.	有	107	2 0 1 5	201601-1-4	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://dx.doi.org/10.1063/1.4935832						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著 者 名		論 文 標 題				
T. Kawamura, H. Imabayashi, M. Maruyama, M. Imade, M. Yoshimura, Y. Mori, Y. Morikawa		First-principles investigation of the GaN growth process in carbon-added Na-flux method				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Phys. Status Solidi B	有	252	2 0 1 5	1084-1088	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1002/pssb.201451546						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著 者 名		論 文 標 題 【掲載確定】				
S. Yanagisawa, S. Hatada, Y. Morikawa		Theoretical Study on Electronic Structure of Bathocuproine: Renormalization of the Band Gap in the Crystalline State and the Large Exciton Binding Energy				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
J. Chin. Chem. Soc.	有	63	2 0 1 6	-	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.1139/cjc-2014-0542						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
Y. Matsushita, H. Sekiguchi, N. Ohta, K. Ichiyanagi, K. Ikezaki, Y. Goto, Y. C. Sasaki		Time-resolved X-ray tracking of expansion and compression dynamics in supersaturating ion-networks				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Scientific Reports	有	5	2 0 1 5	17647	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1038/srep17647						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
K. Ichiyanagi, H. Sekiguchi, T. Sato, S. Nozawa, A. Tomita, M. Hoshino, S. Adachi and Y. C. Sasaki		Cooling dynamics of self-assembled monolayer coating for integrated gold nanocrystals on a glass substrate				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
J. Synchrotron Rad	有	222015	2 0 1 5	29-33	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1107/S1600577514019730						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
H. Kozono, Y. Matsushita, N. Ogawa, Y. Kozono, T. Miyabe, H. Sekiguchi, K. Ichiyanagi, N. Okimoto M. Taiji, O. Kanagawa, Y. C. Sasaki,		Single Molecular Motions of MHC Class II Rely on Bound Peptides				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Biophysical Journal	有	108(2)	2 0 1 5	350 - 359	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
doi:10.1016/j.bpj.2014.12.004						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
K. Tsuji, T. Matsuno, Y. Takimoto, M. Yamanashi, N. Kometani, Y. C. Sasaki, T. Hasegawa, S. Kato, T. Yamada, T. Shoji, N. Kawahara		New developments of X-ray fluorescence imaging techniques in laboratory				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
SPECTROCHIMICA ACTA PART B-ATOMIC SPECTROSCOPY	有	113	2 0 1 5	43-53	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
doi:10.1016/j.sab.2015.09.001						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
松下裕福、関口博史、一柳光平、池崎圭吾、後藤佑児、佐々木裕次		酢酸ナトリウム過飽和溶液中における金ナノ結晶の分散状態とその高精度1分子回転動態観察				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
表面科学	無	36	2 0 1 5	539	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1380/jsssj.36.539						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
関口博史、一柳光平、八木直人、佐々木裕次		放射光X線をプローブとする多量体タンパク質の機能的分子内運動・1分子解析				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
生物物理,	無	55	2 0 1 5	192	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.2142/ biophys.55.192						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
H. Sekiguchi, Y. C. Sasaki		Real Time Intra-molecule Motion of ligand-gated ion channel at Single Molecule Level				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
SPring-8 Research Frontiers	無	2014	2 0 1 5	34-35	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
Piotr Ciacka, P. Fita, A. Listkowski, M. Kijak, S. Nonell, D. Kuzuhara, H. Yamada, C. Radzewicz, J. Waluk		Tautomerism in porphycenes: analysis of rate-affecting factors				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
J. Phys. Chem. B	有	115	2 0 1 5	2292-2301	該当する	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1021/jp506150r						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
C. Wang, J. Zhang, G. Long, N. Aratani, H. Yamada, Y. Zhao, Q. Zhang, Angew		Synthesis, structure, and air-stable N-type field-effect transistor behaviors of functionalized octaazanonacene-8,19-dione				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Chem. Int. Ed.	有	54	2 0 1 5	6292+6296	該当する	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1002/anie.201500972						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
C. Wang, M. Yamashita, B. Hu, Y. Zhou, J. Wang, J. Wu, F. Huo, P. S. Lee, N. Aratani, H. Yamada, Q. Zhang,		Synthesis, characterization and memory performance of two organic small molecules through donor-acceptor design				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Asian J. Org. Chem.	有	4	2 0 1 5	646-651	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1002/ajoc.201500087						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
M. Yamashita, H. Hayashi, N. Aratani, H. Yamada		An electron-deficient tetrathiafulvalene-conjugated bistetracene				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Tetrahedron Lett.	有	56	2 0 1 5	3804-3808	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
doi:10.1016/j.tetlet.2015.04.080						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
A. Matsumoto, M. Suzuki, D. Kuzuhara, H. Hayashi, N. Aratani, H. Yamada,		A Tetrabenzoperipentacene Having Stable Five-electron Donating Ability and a Discrete Triple-Layered -Graphite Form in Crystal				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Angew. Chem. Int. Ed.	有	54	2 0 1 5	8175-8178	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1002/anie.201502466						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著者名		論文標題				
C. Quinton, M. Suzuki, Y. Kaneshige, Y. Tatenaka, C. Katagiri, Y. Yamaguchi, D. Kuzuhara, N. Aratani, K. Nakayama, H. Yamada,		Evaluation of semiconducting molecular thin films solution-processed via the photoprecursor approach: the case of hexyl-substituted thinoanthracenes				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
J. Mater. Chem. C	有	3	2 0 1 5	5995-6005	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1039/C5TC00794A						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
C. Wang, T. Okabe, G. Long, D. Kuzuhara, Y. Zhao, N. Aratani, H. Yamada, Q. Zhang		A novel D-p-A small molecule with N-heteroacene as acceptor moiety for photovoltaic application				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Dyes and Pigments	有	122	2015	231-237	該当する	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
doi:10.1016/j.dyepig.2015.06.029						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
M. Kojima, H. Hayashi, T. Aotake, S. Ikeda, M. Suzuki, N. Aratani, D. Kuzuhara, H. Yamada		Indolizino[5,6-b]quinoxaline derivatives: Intramolecular charge transfer characters and NIR fluorescence				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Chem. Asian. J.,	有	10	2015	2337-2341	該当する	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1002/asia.201500597						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
K. Mase, K. Ohkubo, Z. Xue, H. Yamada, S. Fukuzumi,		Catalytic two-electron reduction of dioxygen catalysed by metal-free [14]triphyrin(2.1.1)				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Chem. Sci.	有	10	2015	6496-6504	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
DOI: 10.1039/C5SC02465J						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている(また、その予定である)						

著 者 名		論 文 標 題				
D. Kuzuhara, S. Miyake, H. Moriyama, Y. Tamura, N. Aratani, H. Yamada		Facile synthesis of indolizino[3,4,5-ab]isoindoles by an acid-induced cyclization of 1,2-di(1H-pyrrol-2-yl)benzenes				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Tetrahedron Lett.	有	56	2 0 1 5	5564-5567	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
doi:10.1016/j.tetlet.2015.08.044						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著 者 名		論 文 標 題				
K. Ohta, S. Hiraoka, Y. Tamura, H. Yamada, K. Tominaga		Charge-carrier dynamics in benzoporphyrin films investigated by time-resolved THz spectroscopy				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Appl. Phys. Lett.	有	107	2 0 1 5	183302/1-5	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://dx.doi.org/10.1063/1.4934690						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている (また、その予定である)						

著 者 名		論 文 標 題				
林宏暢, 鈴木充朗, 葛原大軌, 荒谷直樹, 山田容子		拡張 共役有機材料の機能開拓と溶液塗布によるデバイス作製プロセスへの応用				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
有機合成化学協会誌	無	73	2 0 1 5	1232-1244	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
http://doi.org/10.5059/yukigoseikyokaiishi.73.1232						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

〔学会発表〕 計(148)件/うち招待講演 計(72)件/うち国際学会 計(53)件

発表者名	発表標題	
Hiroshi Daimon	Two-dimensional photoelectron spectroscopy for the analysis of atomic and electronic structure in detail using circularly and linearly polarized light	
学会等名	発表年月日	発表場所
Seminar at RWTH Aachen (招待講演)	2015年04月24日	Aachen (Germany)

発表者名	発表標題	
H. Matsui, F. Matsui, N. Maejima, T. Matsushita, H. Daimon	3D atomic structure analysis around specific atoms by photoelectron holography -- - Graphene on SiC	
学会等名	発表年月日	発表場所
588. WE-Heraeus-Seminar on 'Element Specific Structure Determination in Materials on Nanometer and Sub-Nanometer Scales using modern X-Ray and Neutron Techniques' (招待講演) (国際学会)	2015年04月26日 ~ 2015年04月30日	Bad Honnef (Germany)

発表者名	発表標題	
Fumihiko Matsui, Naoyuki Maejima, Hirosuke Matsui, Hiroaki Nishikawa, Hiroshi Daimon, Tomohiro Matsushita, Matthias Muntwiler, Roland Stania, and Thomas Greber	3. Circular dichroism in resonant Auger electron diffraction: Principle and Applications	
学会等名	発表年月日	発表場所
588. WE-Heraeus-Seminar on 'Element Specific Structure Determination in Materials on Nanometer and Sub-Nanometer Scales using modern X-Ray and Neutron Techniques' (国際学会)	2015年04月26日 ~ 2015年04月30日	Bad Honnef (Germany)

発表者名	発表標題	
大門 寛	回折・ホログラフィーと3D活性サイト科学	
学会等名	発表年月日	発表場所
マイクロビームアナリシス第141委員会 第160回研究会 (招待講演)	2015年05月27日 ~ 2015年05月28日	シーサイドホテル舞子ピラ(兵庫県・神戸)

発表者名	発表標 題	
大門 寛	新学術領域研究「3D活性サイト科学」からの計算科学への期待	
学会等名	発表年月日	発表場所
第27回コンピュータショナル・マテリアルズ・デザイン (CMD) ワークショップ (招待講演)	2015年08月31日 ~ 2015年09月04日	大阪大学豊中キャンパス (大阪府・豊中市)

発表者名	発表標 題	
大門 寛	原子分解能ホログラフィーによる生体分子活性サイトの3D 原子構造直接解プロジェクト	
学会等名	発表年月日	発表場所
第53回日本生物物理学会年会 (招待講演)	2015年09月13日 ~ 2015年09月15日	金沢大学 (石川県・金沢市)

発表者名	発表標 題	
大門 寛	「3D活性サイト科学」による化学反応可視化への挑戦	
学会等名	発表年月日	発表場所
第116回触媒討論会 (招待講演)	2015年09月16日 ~ 2015年09月18日	三重大学 (三重県・津市)

発表者名	発表標 題	
田口宗孝, チャイナニ・アシシ, 上田茂典, 松波雅治, 石田行章, 江口律子, 津田俊輔, 矢橋牧名, 玉作賢治, 西野吉則, 石川哲也, 大門 寛, 東堂栄, 田中秀和, 大浦正樹, 仙波泰徳, 大橋治彦, 辛埴	Fe304のFe 2p内殻硬X線光電子分光における磁気円二色性の理論	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本物理学会2015年秋季大会	2015年09月16日 ~ 2015年09月19日	関西大学千里山キャンパス (大阪府・吹田市)

発表者名	発表標 題	
稲岡毅, 武田さくら, 白澤徹郎	Si(001)-2×1表面電子構造に及ぼす歪みの効果	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
日本物理学会2015年秋季大会	2015年09月16日 ~ 2015年09月19日	関西大学千里山キャンパス(大阪府・吹田市)

発表者名	発表標 題	
M. Taguchi, A. Chainani, S. Ueda, M. Matsunami, Y. Ishida, R. Eguchi, S. Tsuda, Y. Takata, M. Yabashi, K. Tamasaku, Y. Nishino, T. Ishikawa, H. Daimon, S. Todo, H. Tanaka, M. Oura, Y. Senba, H. Ohashi, S. Shin	Bulk Electronic Structure and Magnetic Circular Dichroism in Hard X Ray Photoelectron Spectra of Fe3O4	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
International Conference on Electron Spectroscopy and Structure (国際学会)	2015年09月28日 ~ 2015年10月02日	Stony Brook (USA)

発表者名	発表標 題	
Yusuke Hashimoto, Munetaka Taguchi, Fumihiko Matsui, Tomohiro Matsushita, Hiroshi Daimon	Site Selective X ray Absorption Spectroscopy of Magnetite at Room Temperature	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
International Conference on Electron Spectroscopy and Structure (国際学会)	2015年09月28日 ~ 2015年10月02日	Stony Brook (USA)

発表者名	発表標 題	
Artoni Kevin R. Ang, Sakura N. Takeda, Hiroshi Daimon	ARPES investigation of Si(110) "3×4" Bi and Si(110) "3×6" Bi	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
International Conference on Electron Spectroscopy and Structure (国際学会)	2015年09月28日 ~ 2015年10月02日	Stony Brook (USA)

発表者名	発表標 題	
Munetaka Taguchi, A. Chainani, S. Ueda, M. Matsunami, Y. Ishida, R. Eguchi, S. Tsuda, Y. Takata, M. Yabashi, K. Tamasaku, Y. Nishino, T. Ishikawa, H. Daimon, S. Todo, H. Tanaka, M. Oura, Y. Senba, H. Ohashi and S. Shin	REVISITING THE ELECTRONIC STRUCTURE OF MAGNETITE BY HARD XRAY PHOTOEMISSION SPECTROSCOPY	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
Atomic Level Characterization (ALC)'15 (国際学会)	2015年10月25日 ~ 2015年10月30日	くにびきメッセ (島根県・松江市)

発表者名	発表標 題	
Yusuke Hashimoto, M. Taguchi, F. Matsui, M. Hiroyuki, T. Matsushita and H. Daimon	Atomic Site Separation of XMCD Spectra by Forward Focusing Peaks on Resonance Auger Electron Diffraction Patterns of Magnetite	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
Atomic Level Characterization (ALC)'15 (国際学会)	2015年10月25日 ~ 2015年10月30日	くにびきメッセ (島根県・松江市)

発表者名	発表標 題	
F. Matsui, T. Matsushita and Hiroshi Daimon	3D Atomic Structure Analysis around Active-Site Atoms by Photoelectron Holography	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
Atomic Level Characterization (ALC)'15 (招待講演) (国際学会)	2015年10月25日 ~ 2015年10月30日	くにびきメッセ (島根県・松江市)

発表者名	発表標 題	
大門 寛	3D活性サイト科学	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
第9回 物性科学領域横断研究会	2015年11月13日 ~ 2015年11月15日	東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)

発表者名	発表標 題	
Hiroshi Daimon	3D Atomic structure analysis around active-site atoms by atomic-resolution holography	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
2015 GIST-NAIST-NCTU Joint Symposium (国際学会)	2015年11月19日 ~ 2015年11月20日	新竹市(台湾)

発表者名	発表標 題	
Hiroshi Daimon	3D atomic arrangement analysis around specific atoms by photoelectron holography, x-ray fluorescent holography, and stereo-picture of atomic arrangement	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Hamburg Seminar (招待講演)	2015年12月11日	Hamburg (Germany)

発表者名	発表標 題	
大門 寛	総括 活性サイト周りの三次元原子構造解明と新機能材料創成科学の新展開	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第29回放射光学会年会放射光科学合同シンポジウム (招待講演)	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
Sakura Nishino Takeda, Tetsuroh Shirasawa, Toshio Takahashi, Hiroshi Daimon, Takeshi Inaoka	Effect of Devil's Invention: Subbands and surface resonance states in Si(001) subsurface region	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Symposium on Surface and Nano Science 2016 (国際学会)	2016年01月13日 ~ 2016年01月17日	新富良野プリンスホテル(北海道・富良野市)

発表者名	発表標 題	
Hiroshi Daimon	3D atomic structure analysis around specific atoms by two-dimensional photoelectron spectroscopy	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Symposium on Surface and Nano Science 2016 (国際学会)	2016年01月13日 ~ 2016年01月17日	新富良野プリンスホテル(北海道・富良野市)

発表者名	発表標 題	
A.K.R. Ang, S.N. Takeda, H. Daimon	Surface and electronic structure of Bi adsorbed Si(110) surfaces	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
The 1st International Symposium of the Vacuum Society of the Philippines (国際学会)	2016年01月14日 ~ 2016年01月15日	Manila (Philippines)

発表者名	発表標 題	
Nozomu Hirota, Ken Hattori, Hiroshi Daimon, Azusa N. Hattori and Hidekazu Tanaka	952. Electron Stimulated Desorption On Metal-Oxide-Semiconductor Structure Induced by Gate Voltages	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Symposium on Surface and Nano Science 2016 (国際学会)	2016年01月13日 ~ 2016年01月17日	新富良野プリンスホテル(北海道・富良野市)

発表者名	発表標 題	
大門 寛	二つの2次元光電子分析器の開発による局所原子構造・電子構造の可視化	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
平成28年度 関西支部総会・第1回講演会(招待講演)	2016年01月19日	島津製作所関西支社マルチホール(大阪府・大阪市)

発表者名	発表標 題	
田口宗孝	顕微高分解能二次元光電子分光による機能材料における「活性サイト」の局所構造と電子状態の解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
ISSP-Workshop「SPring-8 BL07LSUの現状-X線分光と回折の協奏へ-」	2016年03月01日	東京大学物性研究所(千葉県・柏市)

発表者名	発表標 題	
大門 寛	新学術領域研究「3D活性サイト科学」による新展開	
学会等名	発表年月日	発表場所
第14回顕微ナノ材料科学研究会(招待講演)	2016年03月14日～ 2016年03月15日	SPring-8(兵庫県・佐用郡佐用町)

発表者名	発表標 題	
田口宗孝, 大門寛, 山岡人志, 山本義哉, 澤田正博, 櫻井裕也, 辻井直人, 島田賢也, 水木純一郎	(Na,Ca)Cr ₂ O ₄ におけるCr 2p内殻X線吸収分光の理論解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本物理学会第71回年次大会	2016年03月19日～ 2016年03月22日	東北学院大学(宮城県・仙台市)

発表者名	発表標 題	
武田さくら, アルトニ ケビン アン, 坂田智裕, 白澤徹朗, 高橋敏男, 大門寛, 稲岡毅	Pb吸着Si(001)表面の表面共鳴状態とサブバンド	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本物理学会第71回年次大会	2016年03月19日～ 2016年03月22日	東北学院大学(宮城県・仙台市)

発表者名	発表標 題	
松井文彦	光電子ホログラフィーと蛍光X線ホログラフィー	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
新学術領域研究 3D活性サイト科学 春の学校(招待講演)	2015年05月30日 ~ 2015年05月31日	奈良春日野国際フォーラム 麓~I・RA・KA~(奈良県・奈良市)

発表者名	発表標 題	
松井文彦	Atomic-Orbital-Excited Diffraction as Local Electronic Property Analysis Method	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日本物理学会領域9・5合同シンポジウム(招待講演)	2015年09月18日	関西大学千里山キャンパス(大阪府・吹田市)

発表者名	発表標 題	
Fumihiko Matsui	3D Atomic Structure Imaging of Superconductors & Magnetic Materials by Photoelectron Holography	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
ISAMMDoF2015(招待講演)(国際学会)	2015年11月02日 ~ 2015年11月03日	熊本大学(熊本県・熊本市)

発表者名	発表標 題	
松井文彦	15.光電子ホログラフィーによる3次元局所原子構造:層状物質を例に	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第29回放射光学会年会放射光科学合同シンポジウム(招待講演)	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県・柏市)

発表者名	発表標 題	
S. Hosokawa, Y. Ideguchi, K. Kamimura, K. Kimura, N. Happo, and K. Hayashi	Local structure of Fe-Ni Invar alloy studied by x-ray fluorescence holography	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
International Symposium on Advanced Materials Having Multi-Degrees-of-Freedom - Optical Properties, Structural Analysis, Imaging and Informatics of Materials (国際学会)	2015年11月02日 ~ 2015年11月03日	熊本大学(熊本県・熊本市)

発表者名	発表標 題	
K. Ohoyama, K. Hayashi, N. Happo, S. Hosokawa, M. Harada, and Y. Inamura	Progress of neutron atomic resolution holography for observations of light elements	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
International Symposium on Advanced Materials Having Multi-Degrees-of-Freedom - Optical Properties, Structural Analysis, Imaging and Informatics of Materials (招待講演) (国際学会)	2015年11月02日 ~ 2015年11月03日	熊本大学(熊本県・熊本市)

発表者名	発表標 題	
S. Hosokawa, Y. Ideguchi, K. Kamimura, K. Kimura, N. Happo, K. Hayashi, Y. Ebisu, T. Ozaki, Y. Yoda, H. Ishii, M. Kitaura, A. Ohnishi, and M. Sasaki	An x-ray fluorescence holographic study on a Bi ₂ Te ₃ :Mn topological insulator	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
10th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices (国際学会)	2015年10月25日 ~ 2015年10月30日	くにびきメッセ (島根県・松江市)

発表者名	発表標 題	
Y. Ideguchi, K. Kamimura, K. Kimura, S. Hosokawa, N. Happo, K. Hayashi, and K. Yabuta	Local structure of Ni-Fe Invar alloy: An x-ray fluorescence holography study	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
10th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices (国際学会)	2015年10月25日 ~ 2015年10月30日	くにびきメッセ (島根県・松江市)

発表者名	発表標 題	
Y. Ideguchi, K. Kamimura, K. Kimura, S. Hosokawa, N. Happo, K. Hayashi, Y. Ebisu, T. Ozaki, J. R. Stellhorn, M. Suzuki, H. Okazaki, A. Yamashita, and Y. Takano	X-ray fluorescence holographic study on high-temperature superconductor FeSe _{0.4} Te _{0.6}	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
10th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices (国際学会)	2015年10月25日 ~ 2015年10月30日	くにびきメッセ (島根県・松江市)

発表者名	発表標 題	
K. Hayashi, K. Hagihara, H. Izuno, N. Happo, and S. Hosokawa	Local structure analysis of Mg ₈₅ Zn ₆ Y ₉ by x-ray fluorescence holography	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
The 10th International Conference on Magnesium Alloys and Their Applications (国際学会)	2015年10月11日 ~ 2015年10月16日	Jeju (South Korea)

発表者名	発表標 題	
S. Hosokawa, N. Happo, S. Senba, T. Ozaki, T. Matsushita, A. Koura, F. Shimojo, and K. Hayashi	Crystal structure of GeTe observed by x-ray fluorescence holography and ab initio molecular dynamic simulation	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
7th International Conference on Amorphous and Nanostructured Chalcogenides (国際学会)	2015年07月05日 ~ 2015年07月10日	Clij-Napoca (Romania)

発表者名	発表標 題	
S. Hosokawa, Y. Ideguchi, K. Kamimura, N. Happo, K. Hayashi, Y. Ebisu, T. Ozaki, J. R. Stellhorn, M. Suzuki, H. Okazaki, A. Yamashita, and Y. Takano	X-ray fluorescence holographic study on high-temperature superconductor FeSe _{0.4} Te _{0.6}	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
588. WE-Heraeus Seminar "Element Specific Structure Determination in Materials on Nanometer and Sub-Nanometer Scales using modern X-Ray and Neutron Techniques" (国際学会)	2015年04月26日 ~ 2015年04月30日	Bad Honnef (Germany)

発表者名	発表標題	
Yu Takano, Yasuhiro Imada	Theoretical study of the relationship between heme distortion and redox potential	
学会等名	発表年月日	発表場所
第53回日本生物物理学会(招待講演)	2015年09月13日 ~ 2015年09月15日	金沢大学角間キャンパス(石川県、金沢市)

発表者名	発表標題	
Yu Takano	Theoretical Analysis of the Electronic Asymmetry of the Special Pair Cation Radical in the Photosynthetic Reaction Center	
学会等名	発表年月日	発表場所
6th JCS International Symposium on Theoretical Chemistry(招待講演)(国際学会)	2015年10月11日 ~ 2015年10月15日	Bratislava(Slovakia)

発表者名	発表標題	
鷹野優	タンパク質の二次構造に働く相互作用の理論解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
大阪大学蛋白質研究所セミナー(招待講演)	2016年03月01日	東京大学先端科学技術研究センター(東京都、目黒区)

発表者名	発表標題	
Yu Takano, Yasuhiro Imada, Haruki Nakamura	Computational Study of the Relationship between Heme Distortion and Redox Potential	
学会等名	発表年月日	発表場所
588. WE-Heraeus-Seminar on Element Specific Structure Determination in Materials on Nanometer and Sub-Nanometer(国際学会)	2015年04月26日 ~ 2015年04月30日	Bad Honnef(Germany)

発表者名	発表標題	
今田康博、中村春木、鷹野優	ヘムの構造歪みの電子構造への影響に関する理論的研究	
学会等名	発表年月日	発表場所
第18回理論化学討論会	2015年05月20日～ 2015年05月22日	大阪大学大学院基礎工学研究科（大阪府・豊中市）

発表者名	発表標題	
草鹿あゆみ、中村春木、鷹野優	Molecular Tailoring Approachによる ヘリックスに働く相互作用の量子化学的研究	
学会等名	発表年月日	発表場所
第18回理論化学討論会	2015年05月20日～ 2015年05月22日	大阪大学大学院基礎工学研究科（大阪府・豊中市）

発表者名	発表標題	
鷹野優、草鹿あゆみ、中村春木	Molecular Tailoring Approachによるタンパク質の二次構造に働く相互作用の理論解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
第15回日本蛋白質科学会年会	2015年06月24日～ 2015年06月26日	あわぎんホール（徳島県、徳島市）

発表者名	発表標題	
今田康博・中村春木・鷹野優	ヘムの構造歪みが酸化還元電位に与える影響の計算科学的研究	
学会等名	発表年月日	発表場所
第15回日本蛋白質科学会年会	2015年06月24日～ 2015年06月26日	あわぎんホール（徳島県、徳島市）

発表者名	発表標題	
原田隆平・鷹野優・重田育照	レアイベント探索手法 " OFLOOD " で解き明かすタンパク質フォールディング機構	
学会等名	発表年月日	発表場所
第15回日本蛋白質科学会年会	2015年06月24日 ~ 2015年06月26日	あわぎんホール (徳島県、徳島市)

発表者名	発表標題	
今田康博・中村春木・鷹野優	Computational Study of Structural Effects on Redox Potential of Hemes	
学会等名	発表年月日	発表場所
第53回日本生物物理学会	2015年09月13日 ~ 2015年09月15日	金沢大学角間キャンパス (石川県、金沢市)

発表者名	発表標題	
兼松佑典・鷹野優・立川仁典	Theoretical analysis of H/D isotope effect on Photoactive Yellow Protein	
学会等名	発表年月日	発表場所
第53回日本生物物理学会	2015年09月13日 ~ 2015年09月15日	金沢大学角間キャンパス (石川県、金沢市)

発表者名	発表標題	
草鹿あゆみ・中村春木・鷹野優	Quantum chemical study for interactions in protein secondary structures via Molecular Tailoring	
学会等名	発表年月日	発表場所
第53回日本生物物理学会	2015年09月13日 ~ 2015年09月15日	金沢大学角間キャンパス (石川県、金沢市)

発表者名	発表標題	
兼松佑典・鷹野優・立川仁典	Photoactive Yellow Proteinに現れるH/D同位体効果の理論的解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
第9回分子科学討論会2015東京	2015年09月16日～ 2015年09月19日	東京工業大学大岡山キャンパス（東京都、目黒区）

発表者名	発表標題	
鷹野優・草鹿あゆみ・中村春木	Molecular Tailoring Approachによる二次構造に働く相互作用の量子化学的解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
第9回分子科学討論会2015東京	2015年09月16日～ 2015年09月19日	東京工業大学大岡山キャンパス（東京都、目黒区）

発表者名	発表標題	
鷹野優・今田康博	ヘムタンパク質にみられるヘムの分子構造-電子構造-機能相関	
学会等名	発表年月日	発表場所
第29回分子シミュレーション討論会	2015年11月30日～ 2015年12月02日	朱鷺メッセ（新潟県、新潟市）

発表者名	発表標題	
原田隆平・鷹野優・重田育照	逆状態分布に基づく効率的タンパク質構造サンプリング手法の開発	
学会等名	発表年月日	発表場所
第29回分子シミュレーション討論会	2015年11月30日～ 2015年12月02日	朱鷺メッセ（新潟県、新潟市）

発表者名	発表標題	
Ryuhei Harada, Yu Takano, Yasuteru Shigeta	Simple, yet powerful conformational sampling methodologies for proteins	
学会等名	発表年月日	発表場所
Pacificchem2015 (国際学会)	2015年12月15日 ~ 2015年12月20日	Hawaii Convention Center (USA)

発表者名	発表標題	
鷹野優	Molecular Tailoring Approachによるタンパク質の二次構造に働く相互作用の量子化学的解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
第3回生命分子科学研究会	2016年03月15日	鹿の湯 (北海道、札幌市)

発表者名	発表標題	
兼松佑典・立川仁典・鷹野優	Photoactive Yellow Proteinの構造と分光スペクトルに現れるH/D同位体効果	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本化学会第96春季年会	2016年03月24日 ~ 2016年03月27日	同志社大学 (京都府、京田辺市)

発表者名	発表標題	
兼松佑典・鷹野優	Pd-porphycene錯体のグラフェン吸着の理論解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
新学術領域「3D活性サイト科学」第3回成果報告会	2016年03月08日 ~ 2016年03月09日	名古屋工業大学 (愛知県・名古屋市)

発表者名	発表標 題	
兼松佑典・鷹野優	光合成系IIに現れるH/D同位体効果の理論解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
新学術領域「3D活性サイト科学」第3回成果報告会	2016年03月08日～ 2016年03月09日	名古屋工業大学（愛知県、名古屋市）

発表者名	発表標 題	
原田隆平・鷹野優・重田育照	反応座標自動検知法を用いたタンパク質の折りたたみ経路解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
新学術領域「3D活性サイト科学」第3回成果報告会	2016年03月08日～ 2016年03月09日	名古屋工業大学（愛知県・名古屋市）

発表者名	発表標 題	
兼松佑典・立川仁典・鷹野優	ONIOM(MC_QM:MM)によるPhotoactive Yellow Proteinの UV/Visスペクトルに現れるH/D同位体効果の理論的解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
新学術領域「3D活性サイト科学」第2回成果報告会	2015年09月04日～ 2015年09月06日	筑波京成ホテル（茨城県、つくば市）

発表者名	発表標 題	
Y.Wakabayashi, H.Morisaki, T.Kimura, T.Koretsune, C.Hotta, and J.Takeya	Electron density analyses of organic semiconductors	
学会等名	発表年月日	発表場所
10th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Cevices (国際学会)	2015年10月25日～ 2015年10月30日	くにびきメッセ(島根県・松江市)

発表者名	発表標 題	
Y.Wakabayashi, H.Fujii, T.Kimura, O.Sakata, H.Tajiri, T.Koyama, and D.Chiba	External electric field dependence of Co ultrathin films -- their magnetism and structure	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
588. WE-Heraeus-Seminar on 'Element Specific Structure Determination in Materials on Nanometer and Sub-Nanometer' (国際学会)	2015年04月26日 ~ 2015年04月30日	Bad Honnef (Germany)

発表者名	発表標 題	
若林裕助	有機半導体の表面構造解析	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日本結晶学会平成27年度年会 (招待講演)	2015年10月17日 ~ 2015年10月18日	大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(大阪府・堺市)

発表者名	発表標 題	
若林裕助	"表面X線回折による原子分解能表面・界面構造解析の現状 - 有機結晶の表面構造緩和から時分割測定まで	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
触媒学会ファインケミカルズ合成触媒セミナー (招待講演)	2015年05月22日	京都大学桂キャンパス(京都府・京都市)

発表者名	発表標 題	
若林裕助	酸化物・有機物に対する表面/界面の構造物性研究	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
PF研究会「次世代放射光光源を用いた構造物性研究への期待」	2015年07月28日	高エネルギー加速器研究機構(茨城県・つくば市)

発表者名	発表標題	
若林裕助	X線CTR散乱による表面構造解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本顕微鏡学会様々な極微イメージング技術若手研究部会 第3回研究会「表面の様々な極微イメージング」(招待講演)	2015年11月23日 ~ 2015年11月24日	志んぐ荘(兵庫県たつの市)

発表者名	発表標題	
Y.Wakabayashi	External Electric Field Effect on Surface Structure of Oxide Ultrathinfilms	
学会等名	発表年月日	発表場所
第25回日本MRS年次大会 機能性酸化物マテリアル国際シンポジウム(招待講演)(国際学会)	2015年12月08日 ~ 2015年12月10日	横浜情報文化センター(神奈川県・横浜市)

発表者名	発表標題	
若林裕助	X線CTR散乱による有機半導体の表面構造の可視化	
学会等名	発表年月日	発表場所
第29回日本放射光学会年会 企画講演「機能発現サイトの三次元可視化最前線」(招待講演)	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

発表者名	発表標題	
佐々木香織, 下侑馬, 久保園芳博, 木村剛, 若林裕助	CTR錯乱法による有機半導体ピセンの表面構造の観測	
学会等名	発表年月日	発表場所
第29回日本放射光学会年会	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
小林一弘、木村剛、若林裕助	二次元 d ピクセルアレイ検出器 XPADS70 による CTR 散乱測定システム	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第29回日本放射光学会年会	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
穴田壮人,木村剛,若林裕助	モンテカルロ法による CTR 散乱の解析ソフトウェア開発	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第29回日本放射光学会年会	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
穴田壮人,清水康弘,小林義明,伊藤正行,木村剛,若林裕助	イジングハニカム格子を持つBa3Co206(CO3)0.7の低温構造	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日本物理学会 2015年秋季大会	2015年09月16日 ~ 2015年09月19日	関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市)

発表者名	発表標 題	
上田大貴,田中良和,大浦正樹,大田晃二郎,若林裕助,木村剛	マルチフェロイック (Ba,Sr)2(Co, Zn)2(Fe, Al)12O22の磁気ドメイン構造と外場印加効果	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日本物理学会 第71回年次大会	2016年03月19日 ~ 2016年03月22日	東北学院大学(宮城県・仙台市)

発表者名	発表標題	
菅大介, 若林裕助, 田尻 寛男, 島川 祐一	放射光X線回折を利用した酸化物ヘテロ構造中の酸素八面体傾斜の評価	
学会等名	発表年月日	発表場所
第63回応用物理学会春季学術講演会	2016年03月19日 ~ 2016年03月22日	東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)

発表者名	発表標題	
佐々木香織, 野内亮, 田尻寛男, 三輪一元, 小野新平, 木村剛, 若林裕介	電場中に置いた自己組織化単分子膜に対するX線反射率測定	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本物理学会 第71回年次大会	2016年03月19日 ~ 2016年03月22日	東北学院大学(宮城県・仙台市)

発表者名	発表標題	
高橋敏男, 山口雄大, 白澤徹郎, 田尻寛男	Si(111)- 21 × 21-(Ag+Au)構造の再考察 II	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本物理学会 2015年秋季大会	2015年09月16日 ~ 2015年09月19日	関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市)

発表者名	発表標題	
高橋敏男, 山口雄大, 白澤徹郎, 田尻寛男	表面X線回折によるSi(111)- 21 × 21-(Ag+Au)構造	
学会等名	発表年月日	発表場所
第29回日本放射光学会年会	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
田尻寛男	Toward 3D holographic imaging of surface atoms by CTR scattering at Spring-8, BL13XU	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
31th European Conference on Surface Science (国際学会)	2015年08月31日 ~ 2015年09月04日	Barcelona (Spain)

発表者名	発表標 題	
田尻寛男	趣旨説明「機能発現サイトの三次元可視化最前線」	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第29回日本放射光学会年会 企画公演「機能発現サイトの三次元可視化最前線」(招待講演)	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
Hiroo Tajiri	Toward 3D holographic imaging of surface atoms by CTR scatterings at Spring-8, BL13XU	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
31th European Conference on Surface Science (ECOSS31) (国際学会)	2015年08月31日 ~ 2015年09月04日	Barcelona(Spain)

発表者名	発表標 題	
Y0エピタキシャル薄膜の電気輸送特性と光学特性	神永 健一、清 良輔、林 好一、八方 直久、田尻 寛男、岡 大地、福村 知昭、長谷川 哲也	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第63回応用物理学会春季学術講演会	2016年03月19日 ~ 2016年03月22日	東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)

発表者名	発表標題	
高橋敏男	表面X線回折法による表面界面構造の研究	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本学術振興会第161委員会第91回研究会『量子ビームを用いた結晶材料評価』（招待講演）	2015年05月15日	東北大学片平キャンパス(宮城県・仙台市)

発表者名	発表標題	
白澤徹郎、Voegeli Wolfgang、荒川悦雄、高橋敏男、増田卓也、魚崎浩平、松下正	メタノール電気化学酸化における白金(111)電極表面構造変化のその場観察	
学会等名	発表年月日	発表場所
2015年度量子ビームサイエンスフェスタ	2016年03月15日～ 2016年03月16日	つくば国際会議場(茨城県・つくば市)

発表者名	発表標題	
T. K. Krasienapibal, T. Fukumura, T. Hasegawa	Microscopic magnetism in high TC ferromagnetic oxide semiconductor: anatase Co-doped TiO ₂	
学会等名	発表年月日	発表場所
MMM Intermag 2016 Joint Conference (国際学会)	2016年01月11日～ 2016年01月15日	San Diego (USA)

発表者名	発表標題	
T. Fukumura	World of oxide electronics	
学会等名	発表年月日	発表場所
Tohoku University Campus Asia Summer School 2015 (招待講演)	2015年08月27日～ 2015年08月28日	東北大学(宮城県・仙台市)

発表者名	発表標 題	
T. Fukumura	Transparent Oxide Spintronics	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
The 4th Dalian University of Technology-Tohoku University Joint Symposium on Chemistry "Challenges in Environmental, Biomedical, and Materials Science & Technology" (招待講演)	2015年10月27日	Panjin (China)

発表者名	発表標 題	
T. Fukumura, J. Wei, S. Kojima, T. S. Krasienapibal, R. Sei, K. Kaminaga, D. Oka, Y. Hirose, T. Hasegawa	Thin film epitaxy of functional oxides	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
588. WE-Heraeus Seminar: Element Specific Structure Determination in Materials on Nanometer and Sub-Nanometer Scales using modern X-Ray and Neutron Techniques (国際学会)	2015年04月26日 ~ 2015年04月29日	Bad Honnef (Germany)

発表者名	発表標 題	
T. S. Krasienapibal, T. Fukumura, H. Kamisaka, T. Hasegawa	On the high TC ferromagnetism in Co-doped TiO ₂	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
E-MRS Fall Meeting (国際学会)	2015年09月15日 ~ 2015年09月18日	Warsaw (Poland)

発表者名	発表標 題	
K. Kaminaga, R. Sei, T. Fukumura, T. Hasegawa	Epitaxial growth of yttrium monoxide thin film	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
2015 International Conference on Solid State Devices and Materials (国際学会)	2015年09月27日 ~ 2015年09月30日	札幌コンベンションセンター (北海道・札幌)

発表者名	発表標 題	
神永健一, 清良輔, 林好一, 八方直久, 田尻寛男, 岡大地, 福村知昭, 長谷川哲也	Y0エピタキシャル薄膜の光物性と輸送特性	
学会等名	発表年月日	発表場所
3D活性サイト科学第3回成果報告会	2016年03月07日 ~ 2016年03月09日	名古屋工業大学 (愛知県・名古屋市)

発表者名	発表標 題	
小島峻吾, 穴田壮人, 若林裕助, 福村知昭, 長谷川哲也	ペロブスカイト型酸化物表面上へのフタロシアニン超薄層の形成と評価	
学会等名	発表年月日	発表場所
3D活性サイト科学第3回成果報告会	2016年03月07日 ~ 2016年03月09日	名古屋工業大学 (愛知県・名古屋市)

発表者名	発表標 題	
福村知昭	透明磁石の物質探索：強磁性を電圧で制御する	
学会等名	発表年月日	発表場所
東北大学理学研究科化学専攻一般雑誌会講演会 (招待講演)	2015年04月17日	東北大学 (宮城県・仙台市)

発表者名	発表標 題	
福村知昭	遷移金属ドーブ酸化物半導体：室温強磁性の発現と局所構造の役割	
学会等名	発表年月日	発表場所
3D活性サイト科学 春の学校 3D活性サイト研究のための分光・回折技術の基礎と応用 (招待講演)	2015年05月30日 ~ 2015年05月31日	奈良春日野国際フォーラム (奈良県・奈良市)

発表者名	発表標題	
福村知昭	非平衡合成による無機固体新物質と新物性	
学会等名	発表年月日	発表場所
第32回無機分析化学コロキウム(招待講演)	2015年06月05日 ~ 2015年06月06日	東北大学川渡共同セミナーセンター(宮城県・大崎市)

発表者名	発表標題	
福村知昭	遷移金属酸化物の非平衡合成と物性	
学会等名	発表年月日	発表場所
物性勉強会(招待講演)	2015年07月04日	東北大学(宮城県・仙台市)

発表者名	発表標題	
林好一, 八方直久, 細川伸也, 福村知昭, M. Lippmaa	酸化物機能薄膜における特殊ナノ構造体の3D原子イメージング	
学会等名	発表年月日	発表場所
第9回物性科学領域横断研究会	2015年11月13日 ~ 2015年11月15日	東京大学(東京都・文京区)

発表者名	発表標題	
K. Nomura	(Imido)vanadium(V)-alkyl 21th International Symposium on Olefin Metathesis and Related Chemistry	
学会等名	発表年月日	発表場所
ISOM XXI(招待講演)(国際学会)	2015年07月12日 ~ 2015年07月16日	Graz(Austria)

発表者名	発表標 題	
野村琴広	環状オレフィンの開環メタセシス重合における立体特異性の制御：高性能触媒の設計・創製	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
第10回次世代ポリオレフィン総合研究会（招待講演）	2015年08月04日～ 2015年08月05日	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス(東京都・千代田区)

発表者名	発表標 題	
K. Nomura	(Imido)vanadium(V) complex catalysts for olefin insertion/metathesis polymerization	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
250th ACS National Meeting（招待講演）（国際学会）	2015年08月16日～ 2015年08月20日	Boston（USA）

発表者名	発表標 題	
K. Nomura	Olefin metathesis: Useful synthetic tool for advanced materials	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
Department of Chemistry, Thammasat University（招待講演）（国際学会）	2015年08月27日	Bangkok（Thailand）

発表者名	発表標 題	
野村琴広	均一系錯体触媒による効率合成反応：基礎事項と最近のトピックス紹介	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
第9回触媒道場，（招待講演）	2015年09月03日～ 2015年09月04日	みのお山荘風の杜(大阪府・箕面市)

発表者名	発表標題	
K. Nomura	Synthesis of cyclic olefin (co)polymers by olefin insertion/metathesis polymerization	
学会等名	発表年月日	発表場所
ACS Advances in Polyolefins 2015 (招待講演) (国際学会)	2015年09月21日 ~ 2015年09月24日	Santa Rosa (USA)

発表者名	発表標題	
K. Nomura	Olefin metathesis: Design of efficient molecular catalysts and synthesis of advanced conjugated materials	
学会等名	発表年月日	発表場所
Seminar at Tsinghua University (招待講演) (国際学会)	2015年10月27日	Beijing (China)

発表者名	発表標題	
K. Nomura	Design of efficient vanadium(V) complex catalysts for olefin polymerization/oligomerization	
学会等名	発表年月日	発表場所
Asian Polyolefin Workshop 2015 (AP02015) (招待講演) (国際学会)	2015年11月23日 ~ 2015年11月27日	首都大学東京 (東京都・八王子市)

発表者名	発表標題	
K. Nomura	Synthesis and reaction chemistry of (imido)vanadium(V)-alkyl, alkylidene complexes	
学会等名	発表年月日	発表場所
Pacificchem 2015 (招待講演) (国際学会)	2015年12月15日 ~ 2015年12月20日	Hawaii (USA)

発表者名	発表標 題	
K. Nomura	Olefin Metathesis: Design of efficient molecular catalysts and synthesis of advanced conjugated materials	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Pure and Applied Chemistry International Conference 2016 (PACCON2016) (招待講演) (国際学会)	2016年02月09日 ~ 2016年02月11日	Bangkok (Thailand)

発表者名	発表標 題	
林好一	酸化物高温強磁性半導体に潜む特異な原子配列の3D原子像化	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Spring-8シンポジウム2015 (招待講演)	2015年09月13日 ~ 2015年09月14日	九州大学伊都キャンパス (福岡県福岡市)

発表者名	発表標 題	
林好一	生体試料に向けた蛍光X線ホログラフィーの挑戦 (Challenge of X-ray fluorescence holography toward biomaterials)	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第53回日本生物物理学会年会シンポジウム 「べん毛・繊毛が織りなす多様な生命現象に挑む ~分子から個体まで~」 (招待講演)	2015年09月13日 ~ 2015年09月15日	金沢大学 (石川県金沢市)

発表者名	発表標 題	
林好一	蛍光X線ホログラフィーによる特異な3D構造の可視化	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第29回日本放射光学会・放射光科学合同シンポジウム 企画公演「機能発現サイトの三次元可視化最前線」	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター (千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
K. Tsutsui	Introduction of uneven structures under ohmic contacts to reduce contact resistances on AlGaIn/GaN HEMTs	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
IEEE TENCON2015 (招待講演) (国際学会)	2015年11月01日 ~ 2015年11月04日	Macau (China)

発表者名	発表標 題	
筒井一生	産業応用技術における3D活性サイトイメージング：半導体中の不純物サイト	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
第29回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム (招待講演)	2016年01月09日 ~ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター (千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
Y. Takei, T. Shimoda, W. Saito, K. Kakushima, H. Wakabayashi, K. Tsutsui, H. Iwai	Lowering contact resistances on AlGaIn/GaN HEMT structures by introducing uneven AlGaIn layers: Effects of configuration and size of lateral patterns	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
Material Research Society Fall Meeting (国際学会)	2015年11月29日 ~ 2015年12月04日	Boston (USA)

発表者名	発表標 題	
下田智裕、武井優典、筒井一生、齋藤渉、角嶋邦之、若林整、岩井洋	AlGaIn/GaN HEMTへの凹凸AlGaIn層導入によるコンタクト抵抗低減効果の凹凸構造サイズ依存性	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
第76回応用物理学会秋季学術講演会	2015年09月13日 ~ 2015年09月16日	名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市)

発表者名	発表標 題	
松浦賢太郎、大橋匠、石原聖也、澤本直美、日比野祐介、須田耕平、角嶋邦之、筒井一生、小椋厚志、若林整	硫黄粉末アニールの減圧化によるスパッタMoS ₂ 薄膜の結晶性向上	
学会等名	発表年月日	発表場所
第76回応用物理学会秋季学術講演会	2015年09月13日～ 2015年09月16日	名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）

発表者名	発表標 題	
清水淳一、大橋匠、松浦賢太郎、角嶋邦之、筒井一生、若林整	スパッタMoS ₂ 膜のフォーミングガス雰囲気ポストアニーリングによる電気特性向上	
学会等名	発表年月日	発表場所
第63回応用物理学会春季学術講演会	2016年03月19日～ 2016年03月22日	東京工業大学（東京都目黒区）

発表者名	発表標 題	
武井優典、下田智裕、高橋昌靖、筒井一生、齋藤渉、角嶋邦之、若林整、岩井洋	AlGa _N /Ga _N HEMTへの凹凸AlGa _N 層導入によるコンタクト抵抗低減効果のメカニズム解明	
学会等名	発表年月日	発表場所
第63回応用物理学会春季学術講演会	2016年03月19日～ 2016年03月22日	東京工業大学（東京都目黒区）

発表者名	発表標 題	
大橋 匠、松浦 賢太郎、石原 聖也、日比野 祐介、澤本 直美、角嶋 邦之、筒井一生、小椋 厚志、若林整	S/Mo比増加によるMoS ₂ 膜の低キャリア濃度化	
学会等名	発表年月日	発表場所
第63回応用物理学会春季学術講演会	2016年03月19日～ 2016年03月22日	東京工業大学（東京都目黒区）

発表者名	発表標題	
K. Ohoyama	Progress of Neutron Atomic Resolution Holography for Observations of Light Elements- Advantage of Neutrons	
学会等名	発表年月日	発表場所
SAMMDoF2015, International Symposium on Advanced Materials Having Multi-Degrees-of-Freedom (招待講演) (国際学会)	2015年11月02日 ~ 2015年11月03日	熊本大学 (熊本県熊本市)

発表者名	発表標題	
大山研司	中性子が切り開く新しい物質科学の展開	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本物理学会 公開講座 (招待講演)	2015年11月07日	東京大学(東京都文京区)

発表者名	発表標題	
大山研司	中性子回折法による磁気構造解析の特徴と実例	
学会等名	発表年月日	発表場所
平成27年度磁性材料研究会 (招待講演)	2015年12月21日	エッサム神田ホール (東京都千代田区)

発表者名	発表標題	
大山研司	中性子で何が見えるか? -中性子散乱の原理と特長-	
学会等名	発表年月日	発表場所
平成27年度物質科学研究会 (招待講演)	2015年07月30日	エッサム神田ホール (東京都千代田区)

発表者名	発表標 題	
内田努、古川真帆、黄川田隆洋、山崎憲慈、郷原一寿	トレハローストランスポーターを発現したCHO-K1細胞の凍結保条件	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Cryopreservation Conference 2015 (招待講演)	2015年10月28日 ~ 2015年10月29日	岡崎コンフェレンスセンター (愛知県岡崎市)

発表者名	発表標 題	
郷原一寿	電子回折イメージング	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日本学術振興会 結晶加工と評価技術第145委員会 第143回研究会 (招待講演)	2015年08月21日	明治大学 (東京都千代田区)

発表者名	発表標 題	
O. Kamimura, T. Dobashi, Y. Maehara, R. Kitaura, H. Shinohara, K. Gohara	20 kV Diffractive Imaging of Graphene by using SEM-Based Dedicated Microscope	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Microscopy & Microanalysis Meeting 2015 (招待講演) (国際学会)	2015年08月02日 ~ 2015年08月06日	Portland (USA)

発表者名	発表標 題	
内田努、山崎憲慈、郷原一寿	ガスハイドレート溶解時のナノバブル発生と再結晶化過程におけるメモリー効果	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日本地球惑星科学連合2015年大会 (招待講演)	2015年05月24日 ~ 2015年05月28日	幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)

発表者名	発表標 題	
Y. Morikawa	Catalytic Reactions in Crystal Growth and Etching Processes at Semiconductor Surfaces: First-principles Molecular Dynamics Study	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
First International Symposium of Institute for Catalysis --Global Collaboration in Catalysis Science toward Sustainable Society (招待講演) (国際学会)	2015年10月13日 ~ 2015年10月15日	北海道大学 触媒科学研究所(北海道札幌市)

発表者名	発表標 題	
Y. Morikawa	First-principles simulations of interface reactions	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
The 6th Asian Physics Symposium (招待講演) (国際学会)	2015年08月19日 ~ 2015年08月20日	Bandung (Indonesia)

発表者名	発表標 題	
Y. Morikawa	First-principles Study on Catalytic Reactions in Crystal Growth and Etching Processes at Semiconductor Surfaces	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
Symposium & Workshop Nanotechnology 2015 (招待講演) (国際学会)	2015年11月10日 ~ 2015年11月11日	Bandung (Indonesia)

発表者名	発表標 題	
森川良忠	第一原理シミュレーションによる不均一触媒の研究	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
物性研究所短期研究会 機能物性融合科学シリーズ(3)「反応と輸送」(招待講演)	2015年06月24日 ~ 2015年06月26日	東京大学物性研究所(千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
森川良忠	第一原理シミュレーションによる不均一触媒反応過程の研究	
学会等名	発表年月日	発表場所
シンポジウム「化学反応経路探索のニューフロンティア2015」(招待講演)	2015年09月15日	品川区総合区民会館きゅりあん(東京都品川区)

発表者名	発表標 題	
Y. C. Sasaki	D Dynamical Observations of Single Molecule Motions by X-rays	
学会等名	発表年月日	発表場所
Electron, and Neutrons, CFEL Seminar, Deutsches Elektronen-Synchrotron DESY, Center for Free-Electron Laser Science (招待講演)	2015年04月23日	Hamburg (Germany)

発表者名	発表標 題	
Y. C. Sasaki	Single Molecule Observations by Quantum Beams (X-rays, Electron, and Neutron)	
学会等名	発表年月日	発表場所
DZNE (German Ctr. Neurodegen. Diseases) & CAESAR Research Ctr. (招待講演)	2015年04月29日	Bonn (Germany)

発表者名	発表標 題	
Y. C. Sasaki	3D Dynamical Observations of Single Molecule Internal Motions by X-rays	
学会等名	発表年月日	発表場所
Electron, and Neutrons, IKM-Seminar, Institute for Complex Materials (招待講演)	2015年07月21日	Dresden (Germany)

発表者名	発表標 題	
Y. C. Sasaki	3D Dynamical Observations of Single Molecule Internal Motions by X-rays	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Electron, and Neutrons, Seminaire CIRI, Amphi Pasteur (招待講演) (国際学会)	2015年09月25日	LYON (France)

発表者名	発表標 題	
Y. C. Sasaki	3D Dynamical Observations of Single-molecule Internal Motions from Channels and Intrinsically Disordered Proteins	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Synchrotron SOLEIL (招待講演) (国際学会)	2015年09月29日	YVETTE CEDEX (FRANCE)

発表者名	発表標 題	
T. Matsushita	Atomic image reconstruction algorithm for photoelectron holography and X-ray fluorescence holography	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
588th WE-Heraeus-Seminar (招待講演) (国際学会)	2015年04月26日 ~ 2015年04月30日	Bad Honnef (Germany)

発表者名	発表標 題	
松下智裕	世界最大の放射光施設Spring-8で触媒の謎を探る	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
「ひらめき ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~ KAKENHI」 (招待講演)	2015年11月01日	首都大学東京(東京都八王子市)

発表者名	発表標 題	
松下智裕	蛍光X線・光電子ホログラフィーの原子像再生理論	
学会等名	発表年月日	発表場所
第29回日本放射光学会年会放射光科学合同シンポジウム (招待講演)	2016年01月09日～ 2016年01月11日	柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

発表者名	発表標 題	
H. Yamada, M. Suzuki, Y. Yamaguchi, K. Nakayama	Photoprecursor approach as an effective means for preparing multilayer organic photovoltaic devices by solution processes	
学会等名	発表年月日	発表場所
ICMAT2015(招待講演)(国際学会)	2015年06月28日～ 2015年07月03日	Singapore (Singapore)

発表者名	発表標 題	
山田容子, 鈴木充朗	"革新的塗布型材料による有機薄膜太陽電池の構築"をめざして	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本真空学会関西支部&日本表面科学会関西支部合同セミナー2015(招待講演)	2015年07月03日	大阪大学会館(大阪府豊中市)

発表者名	発表標 題	
山田容子	熱及び光を利用した塗布変換型有機半導体材料の開発と太陽電池への応用	
学会等名	発表年月日	発表場所
平成27年度第3回光エネルギーセミナー(招待講演)	2015年07月25日	近畿大学プロッサムカフェ(大阪府東大阪市)

発表者名	発表標題	
山田容子	新しい導電性材料 電子系の科学	
学会等名	発表年月日	発表場所
シーズとニーズ・2015年特別例会(招待講演)	2015年09月02日	(独)産業技術総合研究所 臨海副都心センター(東京都江東区)

発表者名	発表標題	
山田容子, 鈴木充朗, 山口裕二, 中山健一	"前駆体法"による低分子塗布型有機薄膜太陽電池の構築	
学会等名	発表年月日	発表場所
第64回高分子討論会(招待講演)	2015年11月15日~ 2015年11月17日	東北大学川内キャンパス(宮城県仙台市)

発表者名	発表標題	
木下豊彦, 室隆柱之, 松下智裕, 大門寛, 松井文彦, 田口宗孝, 松田博之, 下村勝, 横谷尚睦, 脇田高德, 寺嶋健成	SPring-8の軟X線ビームラインを用いた3D活性サイト研究	
学会等名	発表年月日	発表場所
第11回日本表面科学会放射光表面科学研究部会・SPring-8ユーザー協団体顕微ナノ材料科学研究会合同シンポジウム	2016年03月14日~ 2016年03月15日	SPring-8(兵庫県・佐用町)

発表者名	発表標題	
木下豊彦, 室隆柱之, 松下智裕, 大門寛, 松井文彦, 田口宗孝, 松田博之, 下村勝, 横谷尚睦, 脇田高德, 寺嶋健成	SPring-8の軟X線ビームラインを用いた3D活性サイト研究	
学会等名	発表年月日	発表場所
第9回物性科学領域横断研究会 - 凝縮系科学の最前線 -	2015年11月13日~ 2015年11月15日	東京大学(東京都・文京区)

〔図書〕 計(0)件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(1)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
阻止電位型エネルギー分析器	室隆桂之、松下智裕	同左	特許、 PCT/JP2016/051742	2016年01月21日	国内

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計(2)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所
588. WE-Heraeus Seminar Element Specific Structure Determination in Materials on Nanometer and Sub-Nanometer Scales using modern X-Ray and Neutron Techniques	2015年04月26日～2015年04月30日	Bad Honnef (Germany)

国際研究集会名	開催年月日	開催場所
Atomic Level Characterization (ALC)'15	2015年10月25日～2015年10月30日	くびきメッセ(島根県・松江市)

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究：国際共同研究である

共同研究相手国	相手方研究機関			
Norway	Norwegian Univ. Sci. Technol.	-	-	-
USA	Gatan Inc.	-	-	-
Finland	Aalto University	-	-	-
Germany	カールスルーエ工科大	-	-	-
Russia	Lomonosov Moscow State University	-	-	-
他4か国				

17. 備考

新学術領域研究「3D活性サイト科学」
<http://www.3d-activesite.jp/home>
 YouTube 新学術領域研究「3D活性サイト科学」
<https://www.youtube.com/channel/UCW9VgK5N5Lx702hrj6QzBA>
 3D Active-Site Science
<http://www.en.3d-activesite.jp/>
 光合成水分解反応初期に利用される水素イオン移動経路を解明～これまでの定説を覆す結果に～
http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/pressrelease/2015_ja.html#20151007